



ピュアでデッかい

爆乳 ギャル

の幼馴染に

とるあま 発情日

で喰い尽くされる話

え？

おにい
久しぶり！
しばらく
会えてないけど
元気にしてる？

璃莉花は
元気だよ

おにいと
初めて会ったのは
私がまだ小学生の時

おにいの家の近くに
引っ越した時だったね



初めのうちには
お恥ずかしくて
おにいの後ろくに
ついていくだけ
だったけど

おにいさんが
お話をしてくれ
たから
私もすぐに慣
れたんだよ
打ち解けたよ

私たちがいた街は
住んでいる田舎
かなりの田舎
だから

年の近い子が
他にいない
いつも二人一
緒で…





人生の節目を
迎える時は
いつも一緒
だったけど

私たちが少し
年の差が
あったから

私が中学を卒業して
地元の町の女子高に
進学すると

おにいには高校を卒業して
都会の大学に
進学したんだよね

私は部活で…
おにいは大学生生活で
いそがしくなつて
会えない日々が
続いているけど

それでもおにいが
たまに電話してくれるから
毎日元気にすごせてるよ

私の長電話に
一晩中
付き合つて
くれたり…

いつも
ありがとうね



おにい？
今ちよつと
話せるかな

璃莉花から
電話なんて
珍しいな

何か
あったのか？

今度の週末に
オープンキャンパスに
行くんだけど

おにいの
住んでるところの
近くだから
せっくだから
会いに行つていい？

ついでに
街とか案内
するよ

よかった！

それでその日
おんだけど：
泊まってる部屋に
ついていい？

え！
それはさすがに
ヤバくないか？

だって
最近都会の
ホテルって
すごく料金
高いんでしょ？

もうお袋に
聞いてるのかよ…

おばさんに
聞いてたら
良かったよ

だね？
いから
いでしょ？

わかった
わかった
じゃあお袋が
この合鍵が
持っているから

合鍵？
おにいの？
いないの？

バイトのシフト
入ってるから
帰りが遅いんだ？
場所はわかるか？

大丈夫
ご飯作って
待ってあげる

包丁使うの
気をつけろよ？
あと火事にも

おゝ

じゃあ
おやすみ！
またね

へーきへーき
たまにウチで
練習してるし

久しぶりに
璃莉花と
会えるのは
嬉しいけど

俺の部屋に
泊まるなんて
一体何を
考えてるんだ？

…もしかすると

って

そんな
都合よく
進まない
わけなく

ただいま

璃莉花
ちゃん
と
たどり着
けた
みたいだ
な

カキヤ



はっ？

璃莉花？

はっ？

おにい
おかえり！



いや別に
なんでも
ないよ

す

どど…
どうしたの？





えっと…

ご飯もうすぐ
出来るから…

おおお！

やば…

今の反応
良くなかった



あの表情で
分かった…

地元を離れてから
璃莉花が俺に
会いに来なかった
理由が…



いただきます…

そ…
その前に

ごめん
璃莉花！

おいっ…

会わない間に
俺より大きく
なっちゃったから

二人の関係が
変わるかもって
怖くなってる？

それなのに
俺があんな態度
しちゃうなら
傷つくよな

本当に悪かった
だからごめん！

アセ
アセ

おん



璃莉花？

ごめ…
嬉しくて…

最近みんな
怖がつたりして
私を見る目が
変わっちゃって

おにいまで
よそよそしく
なったりしないか
心配だったけど

おにい不安な
私持ち全部
受け入れて
くれたから

だから安心
しちゃって…

まあ…
璃莉花とずっと
一緒だった俺でも
驚くぐらいだし

みんなが悪意で
びっくりしてる
わけじゃないから
気にしないようにな

うん…
私もそう思う

ねえ…おにい
このあと私が

どうしたいか
わかる?

もやもや

璃莉花が
自分から
脱いで…?

はる

え…う…
うーん
何だろう?

ふふっ…

隠しても全部
バレちゃうと
思ったけど

おにいでも
さすがに
分かんないか

あ



あ…

こんな
近くで
顔みるの
初めてかも

すげー
ドキドキする…
めちやくちや
可愛い…



ん…

ぶあ…

んっ



俺も

どうしよ
顔が勝手に
ニヤつい
ちゃう
すごく濃厚な
ファーストキス
しちゃった…

おに
よか
ついた…?

それにしても
璃莉花の制服

随分大人な
感じだね

流行ってるから
私もクラスで
浮かないように
真似してるんだ

なるほど

あん…

ちよ…
おにい…

やあ…
えつち…

でも
いつもは
着崩したり
してないよ

おにい
見せたくて
今日だけ特別

そっか
嬉しいな





あれ？
この香りって

おにいさんが
帰ってくる前に
先にシヤワ
借りちゃった

あ...
おにい
さん汗
フエチ
だった？

それなら
はいどうぞ

そういう
わけでは
ないか



あ...腋汗
びっしょり

ちょっと
酸っぱい...?

ちよ...
それは
恥ずかし...

おにい他にも
してほしい
ポーズある？

え？
じゃあ...
前屈とか？

やあ...
くすぐった...

うわ…
璃莉花の身体
ホント綺麗だね

脚が長くて
ふとももが
すげーエロい…

こんなので
いいんだ…

おにいつて結構
マニアック
だったんだね

じゃあ
いくよ…

はは…
そうかも

どう…？
汚くない？

洗ったけど
大丈夫かい
思っただけ

綺麗
だけど…
とろとろ
溢れたのが
ね

これ
気持ちいい？

もー
イジワル

いん…
いん…

あ
あ
あ

いん

いん

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ



気持ちよくて
力抜けちゃう...

あ...っ
おにい...っ
そん...っ



んっ...
ぴちゃぴちゃ
音がすごくて
恥ずかしい...

やばやば...
すげえよ

我慢
できなく...

やだ...
漏れちゃ...

え？

私はもういっぱい
恥ずかしいところ
見られちゃったから

今度は
おにいが
恥ずかしいが
あがるの
見たいなあ

うわあ

うわあ

璃莉花の全身
湯気が立つくらい
汗びっしょりだ

むせるような
汗の匂い…
エグすぎ

おにいを
気持ちよく
してあげたら
いいのかな

は

は

触るって
いきなり
口で...??

触って
みて...
うん
あっ
わあ
あつたか...
てか熱い

ちよ...
璃莉花
大丈夫か
そんなところ
無理に
舐めなくても...

もうすぐこれが
私に挿入って
おにいと一つに
なるって思うと
すっごく愛おしく
見えちゃって...
やめられないの

全然無理じゃない...
私も
どうしてなのか
分からないけど...





挿入は
いったあ…

めろ

おろおろ

熱くて
ビクビク
なってる

これが本当の…
おにいなんだ

あ

あ

本当の？

あ…



こんなこと言うど
引いちゃうかも
だけど…

想像の中では
もういっぱい
おにいとHする

あ

子供の頃からずっと
おにいとのHを
イメージしながら
一人でしてたし

おにいといる時
エッチな気分
なっていたりしたの

璃莉花が普段から
Hなことを
考えてたなんて…

幻滅
しちゃった
よね…?

そんなこと
ないさ

璃莉花の全部が
大好きだよ

！
嬉し…

私いつも想像では
挿入れられる瞬間に
イっちゃうから

おにいとこうして
繋がって
いられるのが
すごく幸せなの…

璃莉花！

おはっ…っ

イクよあっ！

このまま
一番深いところ
かき回して…

いっぽい
じゅぽい
してえ…！

出るっ！

イク…

イク…イクうっ

あめあめあめ

イク





おにのちの
おちのちの
余韻だけ
まだイッてる

脚が
ガクガク...

ズル
ズル

ダメ：
立つて：
られない

つく：
まだ出る...



胸に
腫れ
内も
だけ
いっ
つな
ぱい
に...

やばあ...

大丈夫か？



ああ
もちろん

ねえおにい：
私が寝るまで
ぎゅっとして？

うん...
平気

そろそろ
出発の時間
だけど：

行きたく
ない：

璃莉花：

オー
キヤ
ンパ
スが
終わ
った
ら
帰る
時間
にな
る

そした
ら
いま
おに
い
た
ら
も
ん
離
れ
に
い
と

だから
代わり
に
このま
まに
二人で

帰る時間まで
エツチなこと
しよう？

ダメ？

おにい
はやくう

おにい

おにい

そもそも
どうして
体操服
なんて…

おにいに
普通の私を
見せてたくて
持ってきた…

あ…

おほ…っ

う…
璃莉花っ!

おぐ…

んっ…
奥まで
来てえ…

これ
気持ち
良すぎっ

うわっ
いきなり
吹いて…



ごめん…また
漏れちゃった…

着替えた
時から

ずっと
ムラムラム
してたから

すぐ
出ちゃった…

あああ…

う…つく

なるほど…

あゝ
おにい
おにい
おにい
大好きすぎて

全身でぎゅって
抱きしめたく
なってる

それって
小さいものを
ぎゅっと
したくなる感覚
なのでは…

おにいが昨日
前屈してつて
言った時

普段の私を
もつと知って
貰おうと思って

今日は
よく着ている
体操服で
迫ろうって
決めたんだ

そう
だった
のか…

それは
それとして
息がやば…

あ…

や…

そんなに
強くないや
だめええつ…



こうしたら
おにない
動けない
でしよない？

うん…

なんか
変な性癖に
目覚めてるな…

おにの
おちの
すっごい
ビクビク
してるよ？

こんな
硬くなっ
てもうイ
キそう？

衝撃が
全身に
来て…

これ
マジで
やば…

ほらほら
なかに
お漏らし
しちゃお？

私と一緒
に
いっしょ
に
お！

なか
腔内出し
されるの
やっぱやばい！

腔内が
ぐちゅぐちゅ
なってる…

動かされるの
だめえ…！

え…おにい
まだおつき…

待つてえ…
私もイッたから
ばかりだから





いやいやっ…
気持ちよすぎっ
奥の一番
深いところに
当たっちゃう！

また
イっちゃう！
連続でやばっ…

あま

気持ちよ
かった...

俺も...

おっぱい
出たねい...

せーしどん
どん
溢れてき
ちゃう

一日が
あっという
間に
終わっちゃ
った



それは花が
璃花が
持ってる

え？

う…
うん…
はいこれ

俺の部屋の合鍵
持ってるよな？



えっと
ほら…

「彼女」には
合鍵渡すって
言うだろ？

…うん

…そうだね！

ふん

ほ